

遠地実体波解析のまとめ

初期破壊：0～10秒、西側に破壊がゆっくりと伝播

主破壊：震源西側で主破壊が開始、破壊は主に西側に伝播、走向は反時計回りに回転していく。能登半島北東沖で破壊開始25秒後に断層すべりが発生し5秒間継続する。輪島付近の断層滑りは35秒まで継続する。

断層形状：震源付近、輪島付近、能登半島北東沖で断層形状は異なる。

